



おもしろき ことのなき世を おもしろく

副校長 牧 田 淳 一

表題の「おもしろき ことのなき世を おもしろく」は、幕末の藩士である高杉晋作^{たかすぎしんさく}が残したと言われる言葉です。この言葉の後に「すみなしものは 心なりけり」という言葉を歌人の野村望東尼^{のむらともしもに}が付け加えたと言われています。不明な点や諸説がありますが、この言葉の意味を「面白くないことであっても、心のもち方次第で面白くなる」と私は解釈しています。そして、「学び」についても同じようなことが言えるのではないかと、最近考えています。ある学ぶ対象が自分にとって意味がない（面白くない）からといって、安易にそれを学ぶことをやめてしまうのではなく、「自分にとって何か身になることがあるのではないか」と捉えて学び続けてほしいと思うのです。

少し前に、テレビやインターネット上で知名度のある人が、「将来、役に立たない教科がある。必要のない学習はやらなくてよいのではないか。」と論じていました。議論を深めるために、物事を批判的に捉えて意見を述べることは大切なことです。だからこそ、多様な意見を聞き手が受け止め、咀嚼し、判断・選択していく力が必要となります。

「役に立たないと思われることも、学ぶことは大切」という意見も紹介します。日本の文豪、太宰治^{だざいおさむ}の「正義と微笑」に次のような文章があります。「代数や幾何学の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思っている人もあるようだが、大間違いだ。（中略）全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。」この一つかみの砂金とは何でしょうか。時がたっても、学んだことによって得られた教養や、鍛えられた思考力・判断力のことであると思います。すぐに役に立つことはないかもしれませんが、この「砂金」からほとぼしる質の高い精神性は、あらゆる学問から学ぶことで培われ、先行き不透明なこれからの時代に必要なものであると思います。面白味を感じない教科・学習内容はきっとあるでしょう。しかし、今の自分には何の面白味もないと思っていた知識や出来事の中にも、「何か面白いことを見つけてみよう」と学んでいけば、たくさんの驚きや発見、感動があるものです。そのような学びができる人は、きっと未来にもたくさんの面白いことを発見できるのではないのでしょうか。

学校で学ぶ教科の内容は、人類がこれまで積み上げてきた英知の結晶です。そこには人類が不断に努力し、疑問や課題を解決し、創造してきた英知が隠れています。どのような英知が隠れているのか、どのような「砂金」が眠っているのか、そこに面白さを見出そうとする心のもちようが、きっと将来役に立つのだと思います。

下田移動教室を終えて

第5学年主任 山崎 晃

9月14日(水)から9月16日(金)の2泊3日、5年生は静岡県の下田へ移動教室に行ってきました。3日間とも天候に恵まれ、計画していた通りの行程で過ごすことができました。

5年生の中には、友達との宿泊が初めてという子どもも多く、持ち物や服装、どんな活動を行うのか、自分の役割を果たせるのかなど出発前は緊張や不安を抱えている子どもも多くいたように感じています。

1日目はシャボテン公園に行きました。園内を歩いているとクジャクが横切ったり、上を見るとサルが木を登っていたりと動物が住んでいる自然の中を歩いているような気持ちになりました。たくさんの動物と触れ合ったり、見学したりして3日間の中で一番印象に残った子どもが多かったようです。

2日目は、午前中は下田漁港見学、二穴洞窟からたらい岬、弓ヶ浜へのハイキング。午後は下田海中水族館を満喫しました。漁港では、下田で多く取れる金目鯛がたくさん水揚げされていました。捕れた金目鯛を大ききごとに仕分けしている様子を見学することができました。ハイキングでは、長い道のお互いに励まし合いながら歩くことができました。たらい岬では、歩き切った達成感と自然に囲まれた美しくダイナミックな景色にみんな感動していました。下田海中水族館では、たくさんの魚や生き物を見ることができたり、イルカやアザラシのショーを見たりととても楽しそうでした。お土産もご家族の方が喜ぶものを考え、店内を何周も回りながら選んでいる様子がとても印象に残っています。

最終日は、お世話になった宿舎を掃除したり、閉校式で感謝の気持ちを職員の方に伝えたりし、宿舎を出発し神奈川県にある地球博物館にいきました。約1万点以上の展示を見学し、地球の誕生の歴史について学習しました。

他にもキャンドルファイヤーや海中水族館の方のお話など3日間たくさんの経験をすることができました。今回の移動教室では、様々な場面で、一人一人が自分の役割を自覚し、しっかりと責任を果たそうとする姿をたくさん見ることができ、子供たちの新しい一面をたくさん知ることができました。また、友達とよりよい関係を築いていくことの大切さや難しさを感じたり、周りには様々な人々に支えられて今の自分があることに気づき、感謝の気持ちを深めたりすることができたように思います。この経験を今後の生活に生かし、さらに成長を続けていけるようこれからも指導していきます。



第8学年 職場体験

第8学年主任 中尾 真紀

9月14日、15日、8年生は区内18の事業所において、職場体験を行いました。事前学習として様々な職種について学び、言葉遣いや挨拶、マナーについても生徒たち自身で考え、調べ、繰り返し練習しながら準備しました。自分に自信をもち、笑顔で元気よ

く最後まで全力を尽くすことを目標にして当日を迎えました。

初めは慣れない環境の中、声が小さかったりあまり元気がなかったりした生徒も、初日の夕方には笑顔いっぱい職場体験に取り組むことができました。商品を丁寧に並べる生徒、野菜を梱包する生徒、お菓子をもとから準備する生徒、幼児へやさしく対応する生徒、大きな声で呼び込みを行う生徒。どの生徒の顔も真剣で、その瞳には普段見られない力が感じられました。今までに体験したことがない疲労感と、きちんと仕事をやり遂げたという充実感の両方が実感できたこの2日間であったと思われま。一人一人が大きく成長できたことでしょう。



今後、事後学習に取り組みながら、下町校外学習の準備を進め、さらには上級学校についての学びを深めていきます。働くことの意義をしっかりと考え、自分の将来について見つめ直す機会になるとよいと思います。この体験を通して、来年の進路選択に向けた意識が高められることを期待しています。

第7学年 防災校外学習

第7学年主任 梶原 綾

9月13日に防災校外学習として有明にあるそなエリア東京に行きました。校外学習のミッションは①側に保護者や教員がないという条件の中、目的地であるそなエリア東京まで班別行動でたどりつくこと、②校外学習を通して公衆道徳を身に付けること、③アクシデントは班員みんなで協力して解決することでした。事前学習では行き帰りの経路を調べたり、昼食場所を探したりしました。準備段階から緊張している生徒がたくさんいました。実際に行ってみると道を間違えたり、班行動が上手くいかなかったなど様々なアクシデントがあった様ですが、みんなで協力し試練を乗り越えました。今後の7年生は大泉桜学園の防災リーダーとして活動する予定です。事後学習の作品は学習発表会で展示しますので是非ご覧ください。



セーフティ教室 ～身の危険を感じたとき、自分にできることは何か？～

小学部生活指導主任 荻島 明子



9月9日（金）に石神井警察の方をお招きして「セーフティ教室～不審者対応訓練～」を行いました。今年度は3年ぶりに1・2年生合同で東体育館にて実施することができました。内容は不審者に遭遇した時の対処法について、日頃から私たちができる取り組みについてです。子供たちも一度は耳にしたことがある「いかのおすし」という言葉。でも、一つ一つどんな意味だったかを振り返

ってみるとはっきりと思い出せません。①㊦ない、②㊦らない、③㊦おごえでさげぶ、④㊦ぐにげる、すぐに⑤㊦らせるの5つの合言葉を頭に入れて生活してください。そして、何か

あつたら「大声をあげて逃げる」「両手を大きく回して手をつかまれないようにする」「ひまわり110番のステッカーの場所やお店に逃げる」等、瞬時に判断して行動することを学びました。また、自分の身の安全を守るため、ランドセルに付いている「防犯ブザー」の定期的な点検もいざという時に使うためには大事なことだと教えてもらいました。

私たちが住む地域で、人目につきにくい場所はないか、「ひまわり110番」のステッカーが貼ってある場所はどこか、登下校時や放課後遊ぶ際に確かめてみましょう。

児童生徒会役員選挙

児童生徒会担当 只木 信嗣

「清き一票をお願いします。」という元気な声が、夏休みの明けた学校に響いていました。9月8日(木)の立会演説会まで1週間を切る中、立候補者たちは朝早くから登校する児童生徒に挨拶をし、昼休みには廊下を練り歩き、自らへの投票を呼び掛ける姿がありました。実際の選挙さながらの光景です。また、投票までの選挙の運営は5年生から9年生の児童生徒11名からなる選挙管理委員会が行いました。



体育館で行う立会演説会は、実に4年ぶりです。立候補者と応援者は3分間の持ち時間をいっぱいを使って演説を行います。実際に300人もの児童生徒の前に立つと、頭が真っ白になり、必死に練習したはずの原稿も忘れてしまうほどの緊張がおそってきます。立候補したからこそできる貴重な経験だったと思います。

学校を良くしたいという思いは、演説を聞いた児童生徒に伝わったはずです。児童生徒会役員を中心に、児童生徒全員で良い学校生活を作っていきましょう。

10月行事予定

新型コロナウイルス感染症に関連して今後変更する可能性があります。
☆令和4年度より相談予約の専用携帯の番号が変わりました。

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
	朝礼 安全指導 桜祭特別時程始		中連合音楽会	委員会活動	避難訓練 英検	土曜授業 稲刈り(5) 室町体験(6)
9	10	11	12	13	14	15
	スポーツの日		小学部午前授業	クラブ活動 たてわり班活動 桜祭りハーサル(789)	児童生徒総会	
16	17	18	19	20	21	22
	期別朝礼Ⅱ		桜祭特別時程終	桜祭		
23	24	25	26	27	28	29
	進路説明会(9)			領域診断テスト(9) たてわり遠足(1234)	下町校外学習(8)	
30	31	11/1	2	3	4	5
	進路面談(9)始 期別朝礼Ⅰ	安全指導 貧血検査(7)		文化の日	開校記念集会 飯盒炊爨(567)	開校記念日

教育相談場所

西校舎3階「相談室」

東校舎1階「あつたまルーム」

☆中学部 スクールカウンセラー(上草)火曜日9:00~17:00 心のふれあい相談員(大内)木曜日9:00~17:00

☆小学部 スクールカウンセラー(中村)月曜日9:00~17:00 心のふれあい相談員(木村)火・木・金曜日9:00~14:00

相談予約は専用携帯へお願いします。小学部:080-7798-3201 中学部:080-7798-3336(5・6年生は中学部用でも可)